

亜酸化窒素 (支燃性ガス 無色・わずかに甘い臭い)

分子式	N ₂ O	分子量	44.0	容器の色	ねずみ色
用途	酸素及び揮発性麻酔剤と混合して手術時の全身麻酔に用いられる。また酸素と混合して歯科、産婦人科の鎮痛用にも用いられる。工業用途として、原子吸光分光分析等に用いられる。				
該当法規	高圧ガス保安法、大気汚染防止法、労働安全衛生法、船舶安全法、航空法、港則法				
物理的性質	<p>支燃性の無色、わずかに甘い味と臭いがあるガス。</p> <p>比重：1.53</p> <p>沸点：-88.5</p>				
化学的性質	<p>常温では比較的安定しているが、約500℃以上になると分解し、酸素と窒素になるため酸化剤となる。$2\text{N}_2\text{O} \rightarrow 2\text{N}_2 + \text{O}_2$</p> <p>650℃以上に加熱すると分解して窒素酸化物の蒸気を生成し、火災や爆発の危険をもたらす。</p> <p>無水亜硫酸、無定形ホウ素、ホスフィンエーテル類、アルミニウム、ヒドラジン、フェニルリチウム、炭化タングステンと激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。</p> <p>300℃以上で強力な酸化剤であり、アンモニア、一酸化炭素、硫化水素、油、グリース、燃料と爆発性混合物を生成する。</p>				
注意事項	<p>ガスに麻酔作用がある。</p> <p>容器は転落、転倒、打撃などの衝撃を与えないよう静かに取り扱う。</p> <p>容器は直射日光を避け、火気暖房から遠ざけ、40℃以下で取り扱う。</p>				

亜酸化窒素（支燃性ガス 無色・わずかに甘い臭い）

事故時の措置

消火方法	周辺火災に対応した消火剤	処理剤	
漏えいしたとき	<p>バルブを閉めるなど、漏えいを止める。</p> <p>完全に締まらないときは、屋外の風通しの良いところに搬出し、周辺への人の立ち入りを禁止する。</p> <p>作業は、風上から給気式呼吸器等保護具を着用して行う。</p>		
火災のとき ・ 周辺での火災のとき	<p>亜酸化窒素は支燃性ガスであり、容器が加熱されてガスが吹き出し火災を助長する恐れがあるので、容器を安全な場所に移動させるか、散水により冷却に努める。</p> <p>ガスが漏えいした時の消火活動は、ガスに麻酔作用があるので、風上から給気式呼吸器等保護具を着用して行う。</p> <p>119番（消防署）に通報する。</p>		
救急処置	<p>吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移し、保温・安静にして、医師の診断を受ける。</p> <p>液状のガスが皮膚に付着した場合は、石鹼水、水で十分に洗浄する。凍傷の時には微温湯で温め、医師の手当てを受ける。</p> <p>目に入った場合、15分間以上水で洗眼し、医師の診断を受ける。</p>		
特記事項 （人体に対する影響）	<p>吸入すると、麻酔作用があり、血圧上昇、瞳孔拡大等が生じる。</p> <p>液が直接皮膚に触れると凍傷の恐れがある。</p>		
緊急通報例 119（消防署）	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で</p> <p>2 なにが 「亜酸化窒素ガス」が</p> <p>3 どうした 「漏れています。」 「消防車出動をお願いします。」</p> <p>4 時間は 時 分 頃 です。</p> <p>5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は 工場 課の です。</p>		